

トーク・セッション

タオイズム「陰陽五行」思想と哲学

日時 | 10月18日(金) 18:00-20:00

会場 | G-Lab:慶應義塾大学三田キャンパス内東館6F

中嶋興(アーティスト)
中森じゅあん(中嶋の妻/算術学研究者/心理セラピスト他)
久保仁志(企画者)

中嶋興は1970年に結婚する。妻である中森じゅあんは《MY LIFE》(1971-)や《Biological Cycle》(1971-)等の中嶋の作品に登場している。つまり、中森は中嶋の私生活にとって重要なだけであるに留まらず、その制作においても重要な人物だと言える。そして《MY LIFE》のように家族を対象とする作品を作る中嶋にとって、公私の境界は一般的なそれとは一致することがないだろう。また、中嶋の思想的な背景の一つである陰陽五行に対する関心と思考は中森との出会いによってもたらされたものだと中嶋は語っている。約50年もの間、中嶋と連れ添っている中森のパースペクティブを通じて中嶋の「MY LIFE」を再生する。

中嶋興(1941-)

1960年代後半より映像・インスタレーション・芸術運動・記録などの多様な活動を行っている。特に《生物学的サイクル》(1971-)と《My Life》(1976-)等は、数度発表されているが、同時に未完でもある。それらは現在にいたるまで再編され続けられており、中嶋の制作に対する特異な姿勢を表現する映像作品である。初期作品の《穴ボコ》《精造器》はMOMAに収蔵されている。慶應義塾大学アート・センター・アーカイヴの所管する中嶋興コレクションは、本人より2014年に預託、2018年より寄託。

■受賞歴

1962年「毎日工業デザイン 工業技術院長賞」(ステレオ・アンサンブル(松下電器産業株式会社)) 入選
1965年「アニメーションフェスティバル 65 アニメ作家賞」受賞
1967年「カナダモントリオール万博映画祭シルバーメダル」受賞
1981年「ポートピア' 81国際ビデオアート展」エンターテイメント部門賞
1983年「フランス・モンペリエ国際ビデオアートフェス」招待・審査員賞
1986年「ユーゴスラビア・ザグレブ国際アニメフェス」優秀賞
1988年「スイス・ロカルノ国際ビデオアートフェス」招待上映、MT-FUJ; 銀獅子賞(LASERDOR賞)
1991年「シャトー・バイシュベル国際現代芸術センター第1回」グランプリ
ほか「国際現代美術コンペティション」(ボルドー市/フランス)大賞グランプリなど